

使わなければ  
無料！！



登記簿図書館®

平成24年 7月 1日 120号

発行 〒144-0052 東京都大田区蒲田 4-22-2  
株式会社 情報通信ネットワーク 広報部  
TEL 03-5744-3192 FAX 03-5744-4030

<http://www.jouhou.co.jp>

佐野秀光  
NEWS



JTN グループ  
代表 佐野 秀光

株式会社情報通信ネットワーク  
株式会社登記簿図書館  
株式会社 JTN クリエイト



登記簿図書館  
のみのサービス  
が可能になりました。

通常では考えられない、法務局よりも安く便利に登記情報が取得できる登記簿図書館サービスは、いままで JTNマップのいずれかのコースに入会されたお客様のみのサービスでした。このたび JTNマップを申し込まなくても登記簿図書館のみのサービスも可能となりました。

都道府県の地域をまたいでの登記情報の一括取得、登記変動監視サービスなど法務局にない機能がご利用できます。ぜひ、この機会に登記簿図書館サービスを、まずは登録だけでもお願いします。

お問い合わせ

株式会社情報通信ネットワーク

営業部  
03-3733-8000

日本初!! 登記簿図書館だけのご利用が可能になりました。  
使わなければ無料！！

今すぐお申込みを!!

今、お申込みされた方全員に 期間限定 平成24年7月31日まで  
QUO カード (1000 円分) をプレゼント!

登記簿図書館利用登録

〒144-0052  
東京都大田区蒲田 4-22-2 情報通信ネットワーク本社ビル

FAX 03-3733-1808

TEL 03-3733-8000 (営業部)

会社名				担当部署			担当者		
住所	〒								
TEL			FAX			メール			

すぐに利用登録したい  詳しい説明を希望

※本用紙に記載頂きました個人情報につきましては、弊社に於いて厳重に管理し、商品及び企業の PR に限定した利用と致します。



ヒデミツ  
安楽死を  
問う！！

# ヒデミツの本質は安楽死制度の導入 頑張れる人間をつくるための法整備を大胆に提言

新党本質 佐野秀光代表のメインテーマは安楽死制度の導入です。「死」について真剣に考えたことのない人間が「生」を語れるはずがない。

佐野秀光が訴え続ける安楽死制度についての主張をご紹介します。



新党本質

検索

## やはり安楽死制度が必要

### 死にたい願望の悲しい事件

大阪で、また痛ましい事件が起きました。通り魔事件ですが、動機が「自殺しようとしたが、死にきれなくて人を殺せば死刑になると思った」って事だそうです。以前に起こった大阪の小学校に乱入した事件も、秋葉原の事件も特に誰でも良かったっての事件は、みんな死刑になりたいと言う、死にたい願望からの事件です。だからこそ、私が昔から言っている生きるも死ぬも自分で決められるように、安楽死制度を作るべきなんです。

### 一人の命が一人を救う

自殺者は毎年3万人以上と減らないんですから、幾ら自殺対策したって、自殺は減りません。私はどうしても死にたいと死にたいと言う人は、幾ら止めても死にたいのですから、それならば逆にどうしても生きたいと言う臓器提供を待っている人に臓器提供することを条件に安楽死させてやれば、一人の命が一人の命を救えるんです。今回の事件だって、仮に犯人が死刑になっても、死にたくない人の命が二人死んでしまったわけですし、結局死にたくない命が二人犠牲になった上に犯人も死刑であれば、この世の中から3人の命がなくなったことになります。それならば犯人を臓器提供を条件に安楽死させてあげて、その臓器提供を待つ人にあげれば、一人の命が助かります。

### 新党本質の主張

殺人とまでは行かなくても、刑務所に入りたくて行こうとする人もいますし、やはりこれ以上生きていくのが辛い人は、いつの世の中でもいるわけです。これからだって今日のような悲惨な事件を予防するためには、正に安楽死制度しかないんです。是非これからも新党本質では安楽死制度を訴えてまいりたいと思います。

## これしかない！！

### 死ぬ自由がないのが問題

大阪での白昼の通り魔事件のような事件は、いくら有識者が会議をして考えたって絶対と言っていいほど無くなりません。大阪の維新の会の松井知事は「死にたければ勝手に死ぬばい」って言っていますが、きっと松井知事は今まで死にたいと思ったこと等ないんでしょう。このような犯罪を無くすためにも是非、病気でなくても安楽死が出来る制度が必要です。

今の中には死ぬ自由が無いのが全ての問題の根幹なんです。いつまで生きるかわからないし、この先どんな病気になるかもしれないし、とにかく国民は皆自分の将来が不安なんです。だから国会だって消費税の問題と同時に、社会保障制度が議論されるんです。自分の最後を自分で決められないからこそ、貯金もするわけなんです。本当は貯金をしたまま死ぬよりも、貯金を使い切って死にたいと思うのが本質ではないでしょうか。それは、子どものことや家族のことを考えて貯金を残そうと考えるのだから子どもや家族の将来が心配だからでしょう。

### 臓器提供を条件の安楽死制度

本当は生きるも死ぬも自分で決められる世の中が一番で、国民一人一人価値観も違い幸福感も違う中で、全ての国民に安心感が与えられるのは、やはり自分で死ぬという選択肢を与えて、楽に安楽死できる制度を作ることこそが、価値観が多様化している中で、最も広く国民に安心感を与える制度だと私は確信しております。これからも私は、国民へ安心感を与えることができ、二度と先日の大阪の通り魔のような事件を起こらないようにするためにも、安楽死制度の創設を訴えてまいりたいと思います。そして、また安楽死制度には同時に臓器提供を条件にすることを義務付け、臓器提供を待ち望む人へ一刻も早く臓器提供が実現できるようにしてあげたいと思っています。



# ヒデミツの政

Vol.22

7月のことば  
年金は詐欺

年金資産消失問題で、AIJの社長が逮捕されました。それならば政府も国民から預かった年金の資金を様々な金融商品に投資して、何兆円も損失を出している方がもっと悪いと思いませんか。

AIJは色々な企業が、嘘の資料を元に年金資金の運用を任せて、結果として損失を出していますが、政府は国民から強制的に年金を徴収し、その年金資金を運用して大損失を出しているわけですので、私は損失の規模や強制的に徴収している点からしても政府の方が罪は重いと思います。

政府の年金資金の運用担当者は、勝手に国民の金で金融商品に投資して失敗しているので、それこそオリンパスや大王製紙の問題以上に大問題。

きっと AIJさんも当初から騙すつもりはなかったのしょうが、一回損失を出すとそれを取り返す為に更にリターンのかい商品に手を出したんでしょうから、政府の年金資金担当のように損失を取り戻そうともしない人よりはマシでしょう。とにかく元々は「世の中全て上手く廻っているときは問題になりませんが、上手く廻らなくなると、誰かに責任追及をしがります。

会社ならば社長が責任を取られますが、政府の年金資金運用の失敗は誰が責任を取るのでしょうか。年金なんてモノ自体が詐欺なんです。